河陽電線株式会社

2023年度（67期）環境経営レポート

（対象期間　2023 年9月1日～ 2024 年8月31日）

エコアクション21
認証番号 0011329

作成日：　2024年9月25日
更新日：　2025年5月14日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	

□ごあいさつ

経　営　方　針

＜経 営 理 念＞

私たちは、電線を通じて、お客様に安心・安全・喜びを
お届け出来るものづくりを目指します。
私たちは、共に考え共に成長し、日々、感謝の心を持ち、
当社にかかわる全ての人々が笑顔であり続ける企業体を創造します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

本業である電線の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
　お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

１．当社に関係する環境関連法規制を遵守します。

２．創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．産業廃棄物の排出量を節減し、分別による再資源化に推進します。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．お客様に安心・安全・喜びをお届け出来るもの作りを目指します。
（地下埋設物探査用ケーブルの開発と普及）

６．本方針を全社員に周知徹底させ社員一丸となって環境に優しい企業づくりを目指します。

７．事業活動を継続的に改善し、環境汚染の予防、環境保護に努め化学物質の適正管理に努めます。

制定日：2015年10月14日
改定日：2019年9月13日

代表取締役社長　小笹史美

□組織の概要

更新日： 2024年9月25日

（1）名称及び代表者名
河陽電線株式会社
代表取締役社長　小笹　史美

（2）所在地
本　　社　　大阪府大東市灰塚３丁目６番１３号
御　領　工　場　大阪府大東市御領3丁目12番3号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　製造部　　内田　裕治　　TEL：　072-872-1761
担当者　　品質管理部　　福元　輝　　TEL：　　同上

（4）事業内容
ビニル電線、配線器具の製造・加工・販売　地下埋設探査ケーブルの開発・製造・販売
主要製品：ビニル絶縁電線・自動車用低圧ケーブル・通信線、配線器具の製造

（5）事業の規模
売上高　　1.6 億円

	本　　社	御領工場	合計
従業員　　名	8名	無人	8名
延べ床面積　　㎡	722 ㎡	182 ㎡	904㎡

（6）事業年度　　9月1日 ～ 翌年8月31日

□認証・登録の対象組織・活動

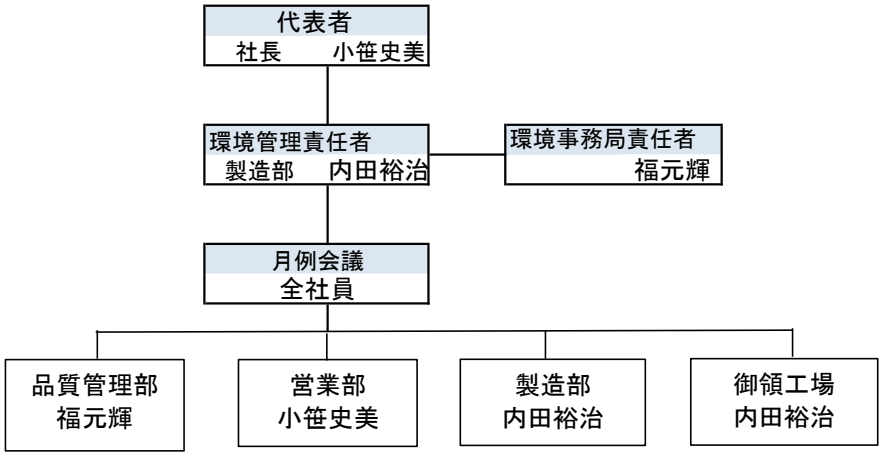
登録組織名：　河陽電線株式会社
対象事業所：　本　　社
　　御　領　工　場
対象外：　なし：全社全活動認証範囲
活動：　ビニル電線、配線器具の製造・加工・販売　地下埋設探査ケーブルの開発・製造・販売

□事業や製品（商品）の紹介

電線の製造から加工・販売までを行っている企業です。
自動車用低圧ケーブルから美容機器製品に至るまで多岐にわたった種類の電線や電源コードを製造しています。また電気に関わる自社製品の開発も行っており、冬場に多い、トラッキング事故。家庭用コンセントに溜まるほこりやごみなどによる発火、発煙を防ぐホコリカバーを販売しております。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2025年5月16日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、月例会議の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
月例会議	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

↑地下埋設ケーブルの紹介動画です

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	30,168	22,885	22,282
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	176	139	203
産業廃棄物排出量	kg	2,316	2,060	1,413
水使用量	m^3	1,148	518	555

※二酸化炭素排出係数　0.440　kg-CO2/kWh　電力会社(EGM)の調整後の係数
※二酸化炭素総排出量には灯油が含まれる
※産業廃棄物は売却も含めたすべての重量

□環境経営目標及びその実績

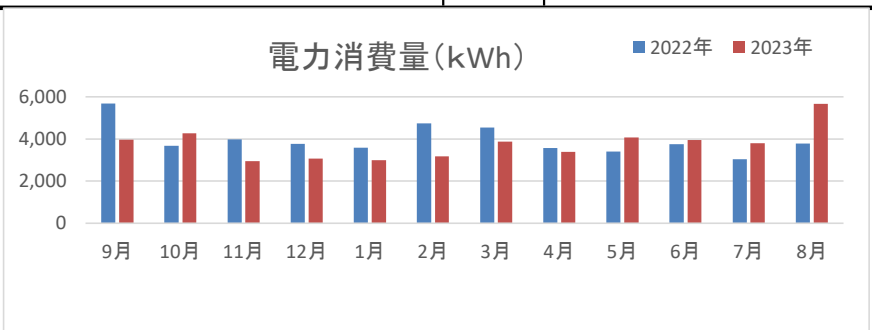
項　目 ＼ 年　度		基準値 (基準年)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)	評価	2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	20,903	20,694	19,873	○	20,694	20,694
	基準年度比	2022年	99%	95%		99%	99%
原単位	kg-CO2/千円	0.138	0.136	0.127	○	0.136	0.136
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,275	1,263	1,346	×	1,263	1,263
	基準年度比	2022年	99%	106%		99%	99%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	22,178	21,956	21,219		21,956	21,956
一般廃棄物の削減	kg	139	138	203	×	138	138
	基準年度比	2022年	99%	146%		99%	99%
スクラップ・PVC廃棄物の削減	kg	3,627	3,591	1,351	○	3,591	3,591
	基準年度比	2018年	99%	37%		99%	99%
水道水の削減	m^3	518	513	555	×	513	513
	基準年度比	2022年	99%	107%		99%	99%
お客様に安全・安心・喜びを	行動目標(次項による) お客様に安全・安心・喜びを						

※灯油は少量のため目標値は設定していない。
※少量のシンナーは適正管理しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

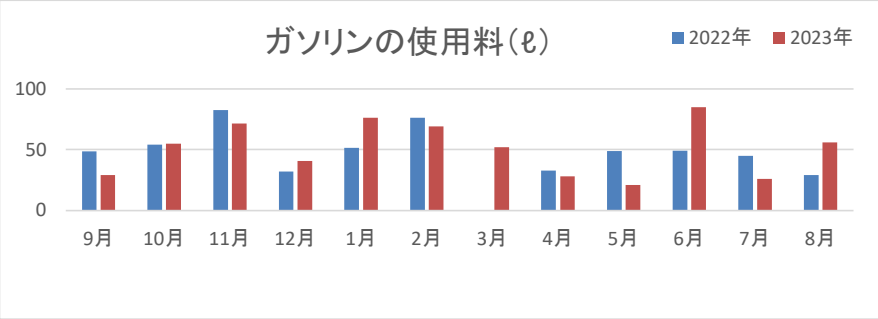
数値目標:○達成　×未達成
活動:○よくできた　△まあまあできた　△できなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	気温が高くなり、クーラーが効きにくくなったため、7月末に暑さ対策のために、北側と西側の窓ガラスに遮熱フィルムを張りました。貼る前と比べて暑さが和らいだのと、クーラーが効きやすくなったのではないかと思う。あと、今年は、扇風機を1人1台使うようにし設定温度を下げすぎないように努めました。トータルの使用量は去年に比べ、電力の使用量が少し削減になっている。次年度は引き続き目標達成手段を継続します
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃　暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・空調機の適切管理・清掃・点検	○	
・生産工程の見直し	○	



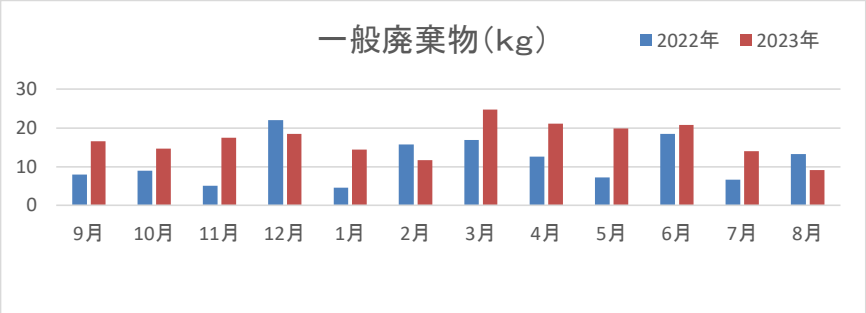
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	5,670	3,678	3,976	3,774	3,587	4,740	4,539	3,567	3,408	3,750	3,033	3,784
2023年	3,960	4,279	2,959	3,074	2,986	3,176	3,872	3,394	4,064	3,945	3,801	5,656

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	営業活動で外に出る機会が増えたので、その分ガソリンの使用量も増えたのだと思う。売上アップにつながればと思う。次年度は今年度基準で、目標達成手段を継続します。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	



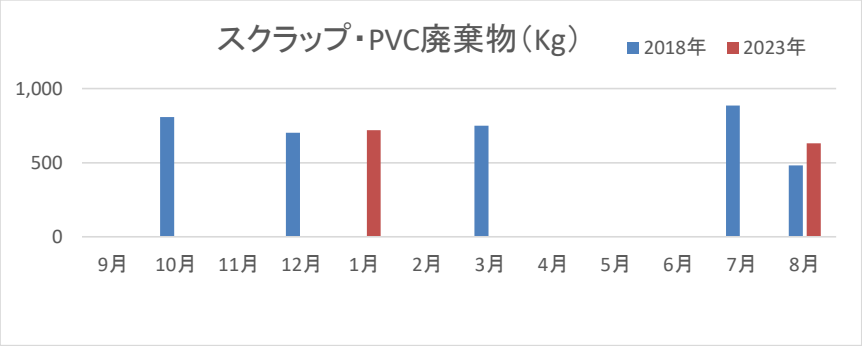
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	49	54	82	32	51	76	0	33	49	49	45	29
2023年	29	55	71	41	76	69	52	28	21	85	26	56

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年度に比べ大幅にごみの量が増えた。要因としてはコーヒーメーカーが設置されたので、紙コップやポーションなどのごみも出るため、それでごみの量が増えたのではないかと思う。コーヒーカスは土に撒くようにしたが、それでもごみの量はあまり変わらなかった。次年度は本年度より増えないように努めたい。
・分別の徹底	○	
・古紙・書類・段ボールの寄付回収	○	



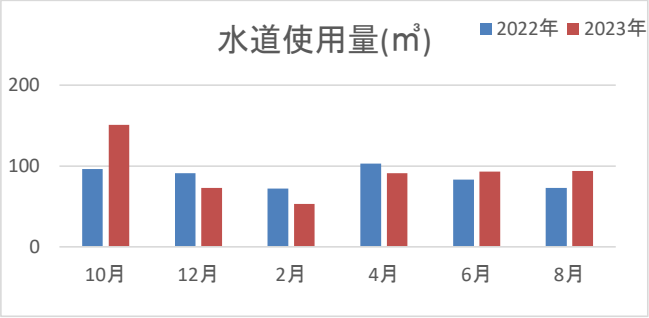
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	8	9	5	22	5	16	17	13	7	19	7	13
2023年	17	15	17	18	14	12	25	21	20	21	14	9

スクラップ・PVC廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	メジャーやクロスを張り替えてから、作業ミスが発生していない。作業者と一緒に張替を行ったことにより、意識が変わってきたと思う。確認作業が流れ作業になっていたが、ダブルチェックが機能してきた。排出量は回収業者の引き取り頻度によって変化する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・需要に合わせて在庫数を変更する	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2018年	0	807	0	702	0	0	750	0	0	0	886	482
2023年	0	0	0	0	720	0	0	0	0	0	0	631

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	年度初めの使用量が多くトータルでは去年より多くなりましたが、半分は前年に比べ少なく抑えることができていた。
・漏水の点検	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0	96	0	91	0	72	0	103	0	83	0	73
2023年	0	151	0	73	0	53	0	91	0	93	0	94

地下埋設物探査用ケーブル普及（経営革新計画の推進）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・販売促進	○	一人で営業活動をするには物理的に困難で行き詰っていた所、代理店契約の申し入れがありパートナーとして契約を結んだ。このような有難いご縁から学ぶことは、情報発信の大切さだと感じた。
・ザ・スパッツの拡販（展示会）	○	

↑埋設実験の様子

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機
NOｘ・PM法	トラック
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤ
顧客要求事項	品質管理、指定化学物質の管理（不使用、基準遵守等）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情･要望等

取り組み期間中、苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：	火災の発生
■実施日 2025.05.14	
■参加者： ６人	
■実施内容： □通報訓練 ☑消火訓練 □避難訓練	
■評価： 手順書の変更の必要性 □ あり ☑ なし	
■実施状況の様子	

□BCPへの取り組み

令和2年11月9日、事業継続強化計画の認定を受けました。

令和２年度 事業継続力強化計画 認定 経済産業省

□大阪ものづくり優良企業賞 2022

・大阪ものづくり優良企業賞 2022 において
「優良企業賞」と「知的財産部門賞」に選定。

OSAKA Monodzukuri Spirits 匠 Excellent Company of OSAKA 大阪の元気!ものづくり企業

Intellectual Property Reward 知 Excellent Company of OSAKA 大阪府 知的財産部門賞

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年9月25日

2016年に認証取得してから、時間の経過と共に取り組み内容の考案・改善事項が難しくなってきている中、
毎月の負荷記録の変化を敏感にとらえて改善活動へと繋げていっている姿は、頭が下がる思いです。
また、環境への意識が高まり、取り組む企業が増えてきているので他社の取り組み内容も参考にし、
自社に取り入れられそうな事があれば、それを試してみるのも環境の取り組みの幅を広げる行動になるのではないでしょうか？

68期よりｴｺｱｸｼｮﾝ21の活動をパートさんへ周知をする計画をしており、全従業員での活動になることを期待しています。
この事から、環境への意識の高まりと日々の行動への変化が、新しい取り組みの発案や数値に変化に繋がるよう事を願います。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

平成28年度、なにわエコ会議二酸化炭素削減コンペにて、アイデア賞を受賞しました。

賞状

アイデア賞

河陽電線株式会社様

貴社は平成二十八年度なにわエコ会議二酸化炭素削減コンペにおいて社員一丸となって省エネに効果のある改善活動に取り組み成果をあげられましたここにその努力をたたえます

平成二十九年二月八日

なにわエコ会議

会長 花嶋 温子